



初動体制の強化と 多様化する災害への対応



現

在、川根本町で災害が発生した場合には、島田市消防本部金谷消防署川根北分遣所が中心となり対応しています。広域化後は、災害が発生した市町の消防署だけでなく、広域化した近隣市町の消防署から、災害対応に必要な複数の消防車輛が同時に出勤することにより初動体制が強化され、早期に効果的な消防活動が展開できます。

また、消防ヘリコプターやはしご車、特殊災害自動車などの特殊車輛を活用することにより、林野火災、水難事故、大規模災害などの多様化する災害に幅広く対応することができまます。



▲川根北分遣所の水難救助訓練

社会情勢の変化に伴い、災害が複雑・多様化している現況を踏まえ、さらなる消防体制の強化が求められています。静岡地域静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町が消防の広域化をすることで、各市町が抱える大規模災害への対応など共通の課題を解決するとともに、現場要員の拡充やより高度で専門的な資機材の充実などを図り、住民サービスのより一層の向上を目指してまいります。広域化後もこれまでと同様、日々の巡回をはじめ、技術向上のための各種訓練など、川根本町の皆さまの期待に応えられるよう職員一丸となって努めてまいります。

消防広域化にご期待ください



島田市消防本部・金谷消防署
大橋 孝男 署長

大橋署長
メッセージ





自分たちの町は 自分たちで守る



のように、静岡市消防局では広域化の利点を最大限に活用し、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す消防の姿に掲げ、取り組んでいきます。

本町でも静岡市をはじめ、島田市、牧之原市、吉田町と連携を深め、消防力の強化に努めていきます。その上で、町域約5万戸という広大な面積と町民の生命財産を守るため、多様化する災害に備え、町消防団と自主防組織の連携が欠かせません。これからも、「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、自助・共助・公助の意識を高めていきたいと思います。



秋季演習

川根本町消防団



地域防災訓練

自主防災組織



▲川根本町消防団出初式で操法披露

「町民の生命・財産を守るため、常に安全に配慮して、使命感と責任感を持って団活動を遂行して欲しい」と常日頃から団員に願ひ、呼び掛けています。多様化する災害に対し、広大な町域で活動する本団にとって、119番通報の一括受け入れによって指揮命令系統の体制が強化されることや、到着時間の短縮など、消防広域化によって得られるさまざまなメリットに期待しています。

本団においても、今まで以上に連携を深め、「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、町民の皆さまに信頼いただけるよう精進してまいります。

より一層の連携強化に努める



川根本町消防団 諸田 環 団長

諸田団長
メッセージ

